

検査項目

検査項目		コース						検査内容	
		A コース	B コース	C コース	D コース	E コース	F コース		
診察（問診）		○	○	○	○			問診・聴打診	
身長・体重・腹囲・BMI		○	○	○	○			測定値から、太りすぎ・やせすぎの度合いをみます。腹囲は内臓脂肪型肥満を判定する目安となります。	
視力・聴力		○	○	○	○			左右の裸眼視力、または矯正視力を測定します。1000Hzと4000Hzの音の聞こえを測定します。	
胸部X線検査		○	○	○	○			胸部のレントゲン撮影を行い、肺のがんや結核、心臓の肥大などの異常を調べます。	
血圧		○	○	○	○			血管壁にかかる圧力を測定し、高血圧や低血圧の有無、心血管疾患のリスクを調べます。	
血液検査	貧血検査	血色素量	○	○	○	○			血液中の赤血球数やヘモグロビン量などを測定します。体内の酸素運搬能力を確認し、貧血の有無やその原因、程度を調べます。
		赤血球数	○	○	○	○			
	肝機能検査	AST(GOT)	○	○	○	○			血液中の酵素(AST・ALT・γ-GTP)を測定します。肝細胞の状態や、アルコール・脂質の摂りすぎによる肝機能の低下を調べます。
		ALT(GTP)	○	○	○	○			
		γ-GPT	○	○	○	○			
	血中脂質検査	総コレステロール	○	○	○	○			中性脂肪やLDL(悪玉)・HDL(善玉)コレステロールの値を測定します。血液中の脂質バランスを確認することで、自覚症状のない動脈硬化の進行度や、脂質異常症のリスクを調べます。
		LDLコレステロール	○	○	○	○			
		HDLコレステロール	○	○	○	○			
	血糖検査	中性脂肪	○	○	○	○			
		血糖	○	○	○	○			測定時の血糖値に加え、糖化ヘモグロビンがどのくらいの割合で存在しているかを表すHbA1cを測定します。
HbA1c(NGSP)		○	○	○	○				
尿検査	蛋白	○	○	○	○			尿中の蛋白と糖を調べます。腎臓の機能や糖尿病の兆候、尿路系の疾患など、体内の異常を調べます。	
	糖	○	○	○	○				
心電図検査		○	○	○	○			心臓の微弱な電気信号を記録し、不整脈や心筋虚血、心肥大などの異常を調べます。	
尿酸検査		○	○	○	○			血液中の尿酸値を測定します。高尿酸血症の有無や、痛風、尿路結石のリスクを調べます。	
大腸がん検査（2回法）			○		○	○		便の中に血液が混じっていないかを調べます。大腸がんやポリープの早期発見に有効です。	
胃部X線検査（バリウム） 午前中のみ				○	○		○	バリウムを飲み、X線で胃の形や粘膜を撮影します。がんや潰瘍などの異常を調べます。	

※ 尿検査、大腸がん検査を受診される方には、受診日の1週間前を目安に検査キットを送付いたします。